

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	友ヶ島は瀬戸内海国立公園であり、自然が多く残る無人島で、そこが魅力の観光地であるが、それが故に、倒木や落石、散策路面の劣化、施設の老朽化など、来島者を受け入れる体制として、改善していかなければならない問題点も多く、敷地面積が広大なことから、管理委託や修繕の範囲では追いつかなくなっている実情がある。
見直し・改善内容	受入体制として、管理上問題となっている事を整理し、計画的に改善を行う。 また、必要な予算措置を講じ、来島者が安心して快適に観光を楽しめるよう環境整備を進めていく。 それに加え、近年、台風や豪雨等による被害が増加しているため、災害対策及び被災後の安全管理体制の強化を図り、あらゆる状況下にも安定した受入ができるよう体制を整えていく。